

(1) 名張市未来のよりよい学校の在り方基本計画について

全国的な人口の減少及び少子高齢化が進行する中、名張市も子どもの数は年々減少しています。市内の小中学校においても、児童生徒数の減少に伴い、学校の小規模化が進んでいます。また、学校施設・設備の老朽化も課題となっており、時代に即した教育の実現が困難となってきました。

こうした状況を踏まえ、児童生徒数の減少、学校の小規模化などの変化に対応し、学校教育を最優先にすることに重点を置くとともに、未来を創る子どもたちにとって将来にわたり持続可能で最適な教育環境の整備・充実を図り、教育の質の向上を目指すことができる学校のあり方、ふさわしい学校規模や配置等についての基本的な方向性を示すことを目的に名張市未来のよりよい学校の在り方基本計画を策定します。

名張市の未来を創る子どもたちが、多様な他者と協働することで生み出すよりよい学びを保障していくため、名張市がめざす学校教育を実現するための望ましい教育環境の実現に向けて検討を行います。検討審議会では地域の実情を踏まえ、審議事項として、以下の内容を視点に置き、基本的な理論や方向性について議論していきたいと考えています。

議論の視点

- (1) 少子化を踏まえた子どもの学びと育ちについて
- (2) 望ましい市立小中学校の規模及び配置について
- (3) 義務教育の期間を見通した市立小中学校の体系について
- (4) 市立小中学校と他の公共施設との複合化、共用化又は集約化について
- (5) 地域や社会との連携、協働について

なお、基本計画策定後は、基本計画の方針に基づき、対象となる学校等を選定し、保護者や地域住民の参画と合意形成を前提に実行計画を立て、慎重に進めることとします。